



練馬区立石神井東小学校

令和4年度

学校便り

臨時号



校長 武井 和幸

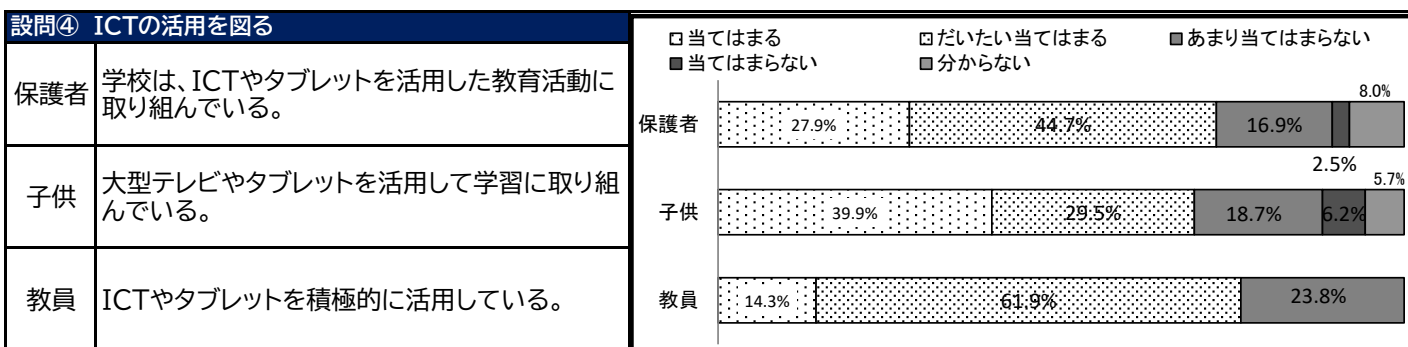
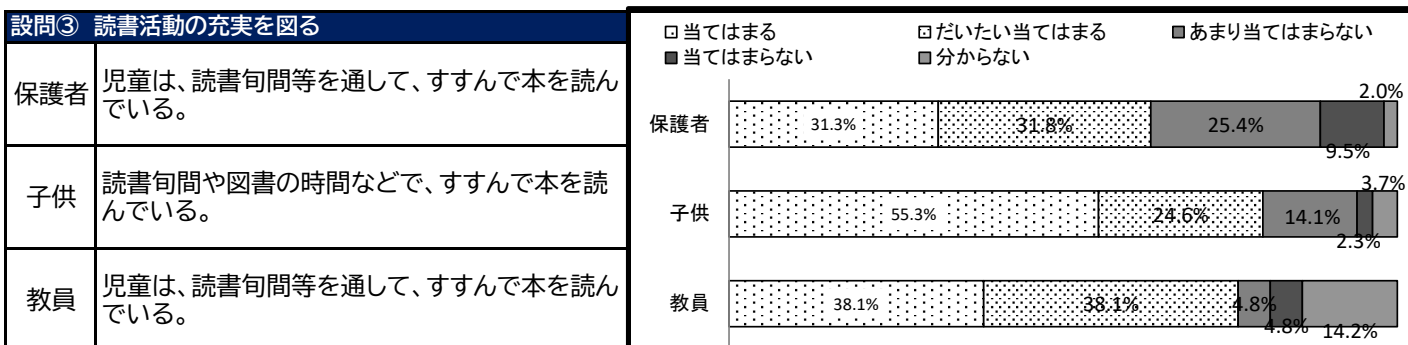
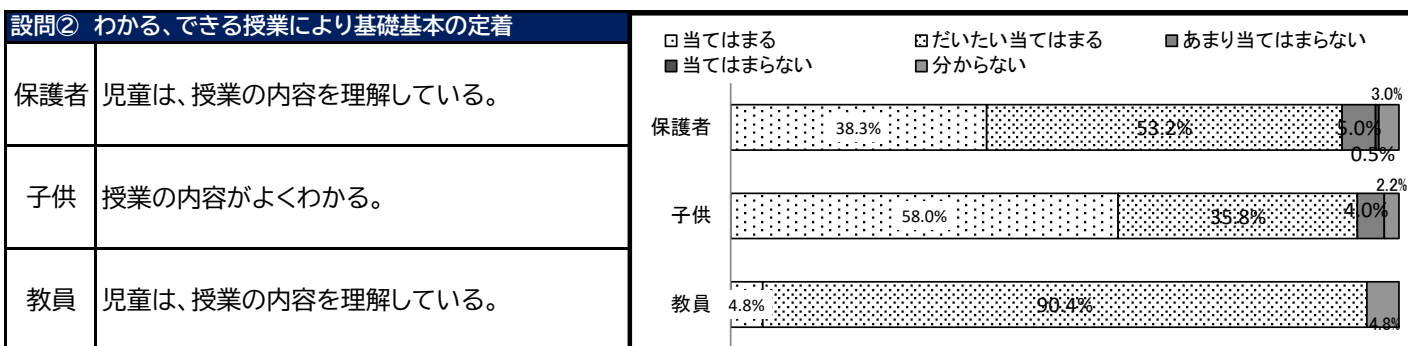
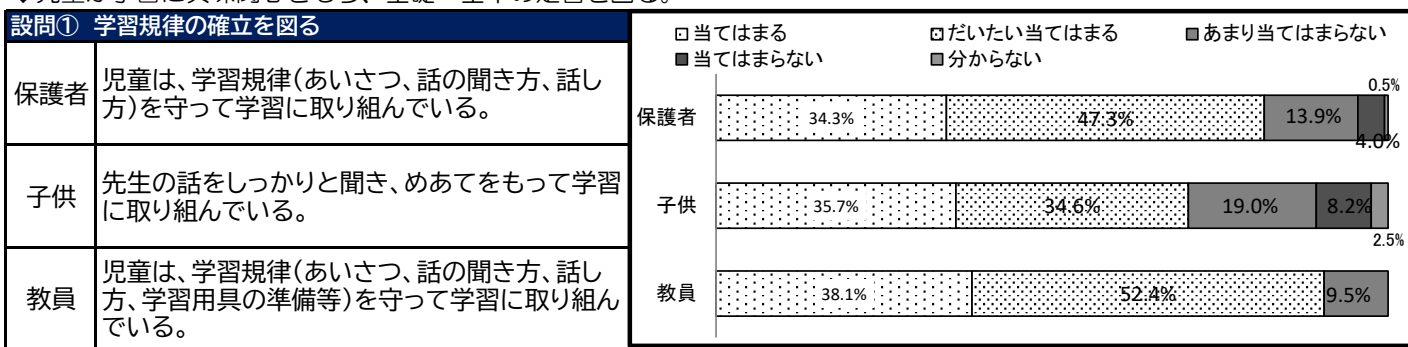
学校HP

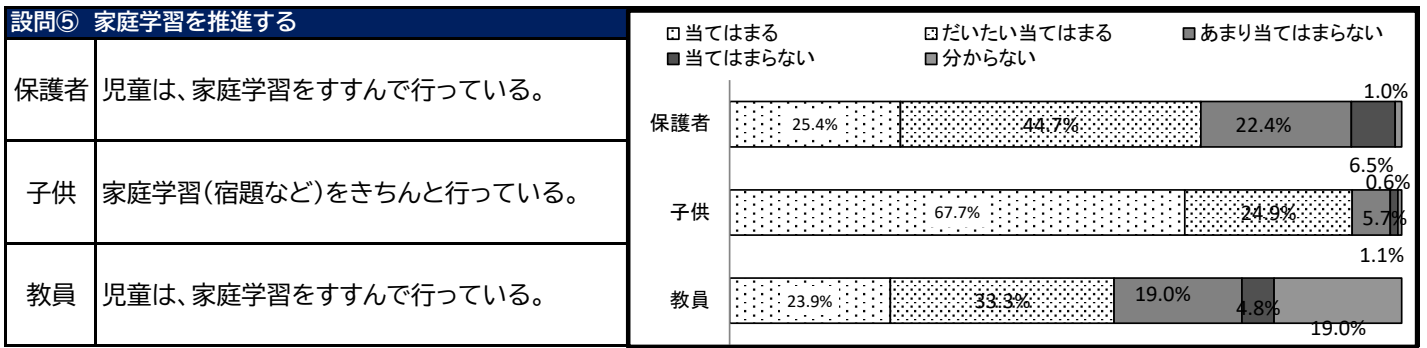
令和4年度 石神井東小学校教育活動におけるアンケート結果

アンケートへのご協力をありがとうございました。集計の結果は、以下の通りとなりました。(回答数 保護者201 子供353 教員 21)
いただいた意見を基にして、教職員、学校評議員会で話し合い、検討させていただきました。令和5年度の教育に生かしてまいります。

【児童が元気に通える学校】

◆児童が学習に興味関心をもち、基礎・基本の定着を図る。



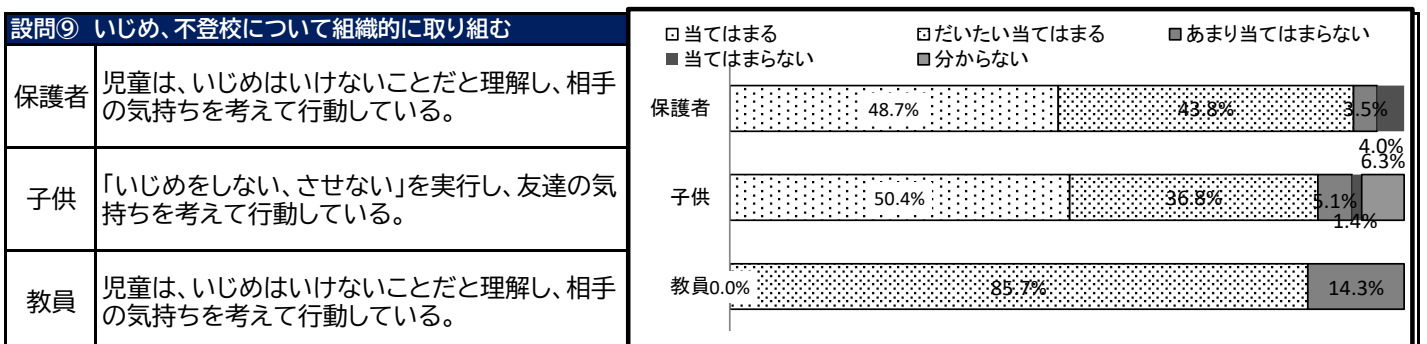
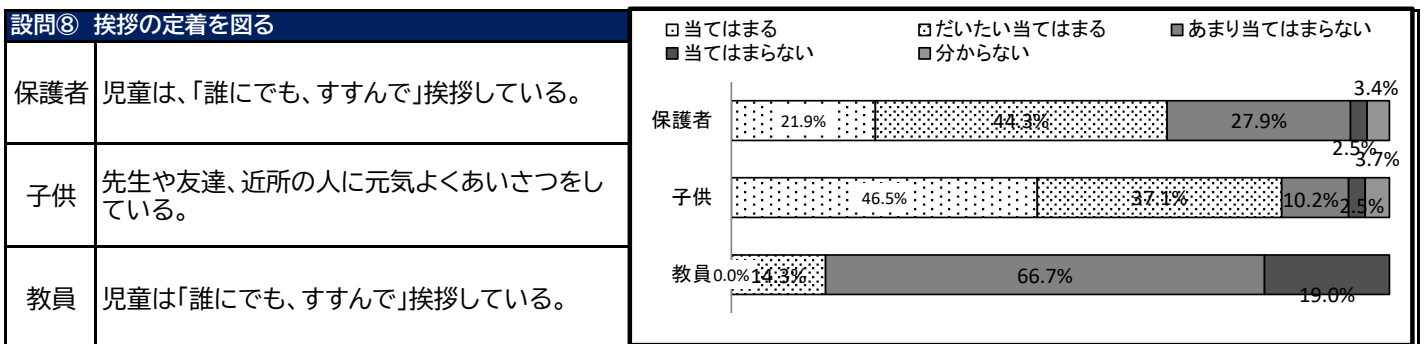
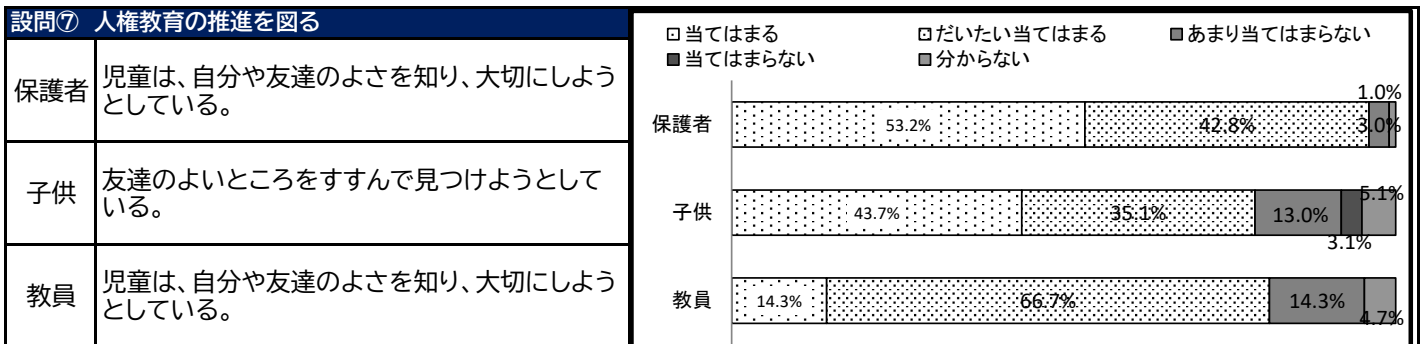
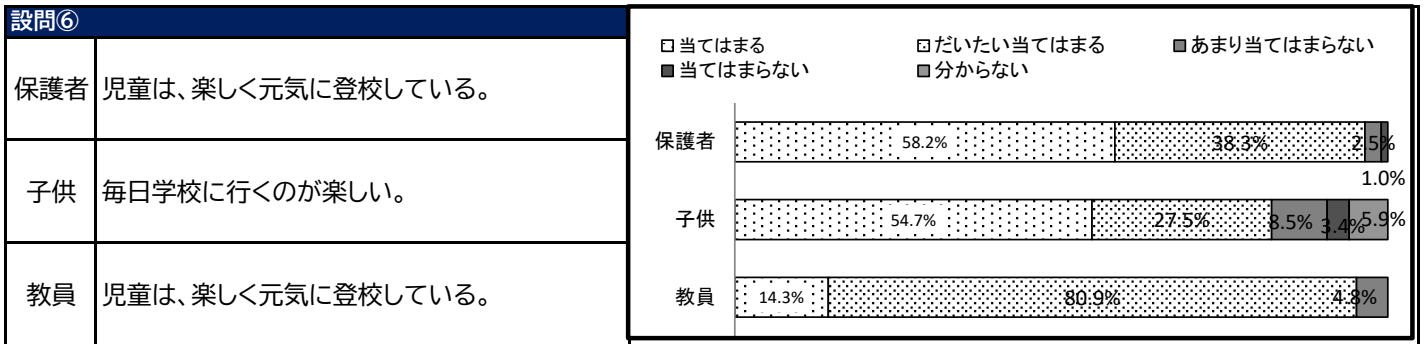


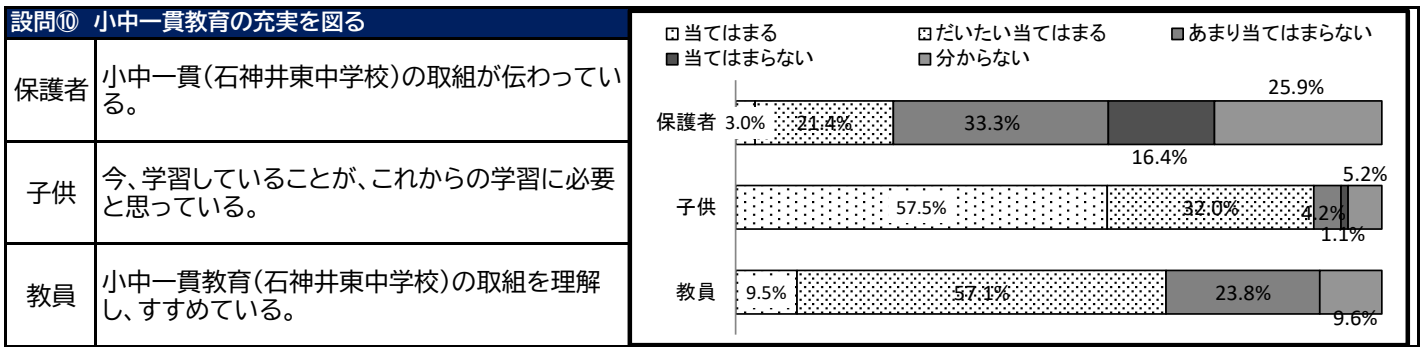
・読書に関しては、保護者、教員の肯定的評価が80%を下回っています。学校では、長期休みの貸し出しや読書旬間等の取組をさらに充実させていきます。

・ICTに関しては、保護者、子供、教員で肯定的評価が80%を下回っています。学年によってのばらつきはありますが、タブレットを使う時間をより多く設定していきます。また、ローマ字入力を3年生の早い段階で行う等、学校全体での系統性をもたせて指導していきます。

・家庭学習に関しては保護者と教員の肯定的評価が80%を下回っています。タブレットでの課題も含め、子供たちが意欲的に取り組む課題を考えていきます。

◆豊かな人間性を育てる。



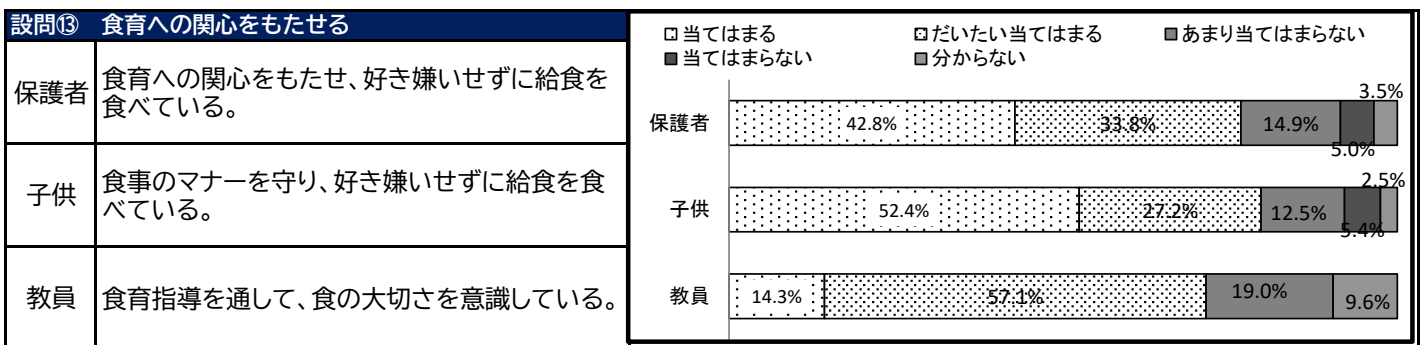
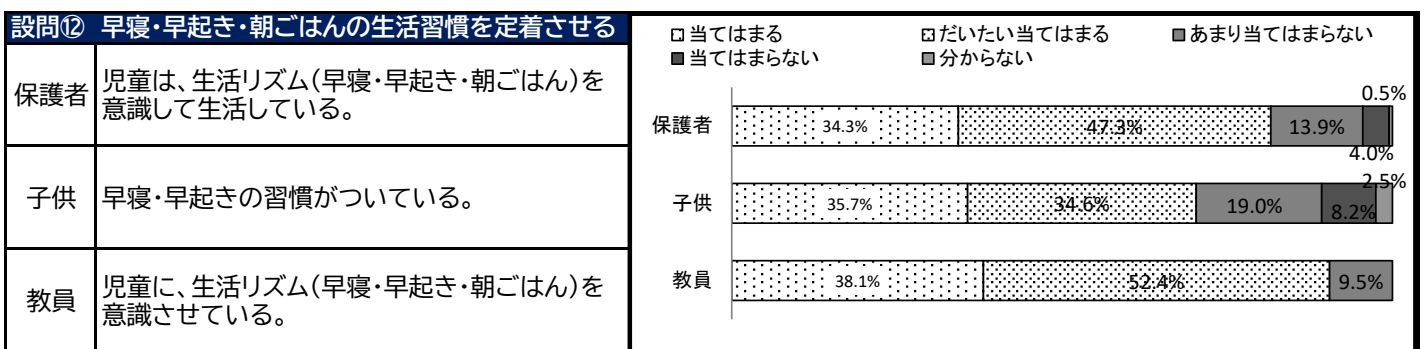
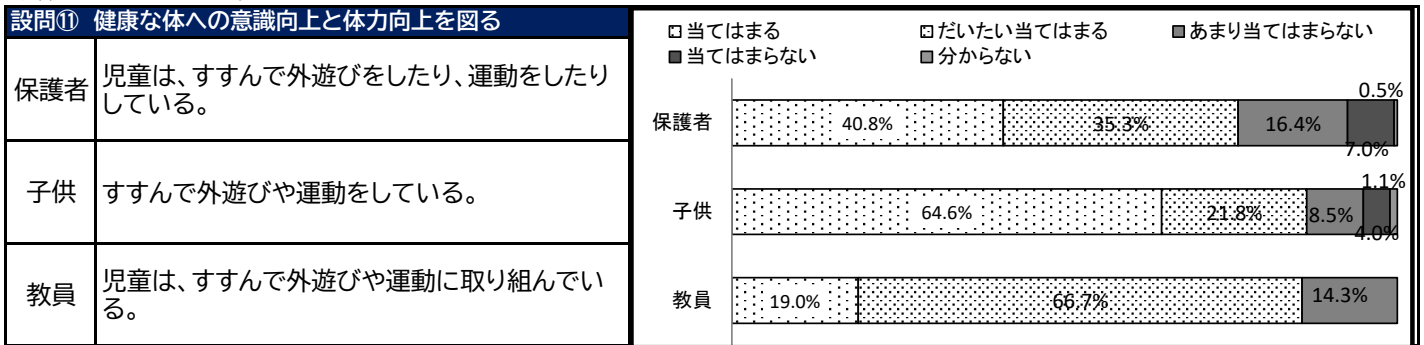


・元気に登校している子供の評価は80%を超えてはいますが、中には学校が楽しくないと捉えている子供もいます。一人一人の原因を考え、対応してまいります。

・挨拶に関しては、保護者と教員の肯定的評価が80%を下回っています。代表委員会のあいさつ運動を定期的実施していきまいたが、まだ挨拶の定着には至っていない現状です。職員が率先して挨拶をしていきますが、保護者の皆様の声掛けや挨拶も有効です。よろしくお願いいたします。

・小中一貫教育に関しては、保護者と教員の肯定的評価が80%を下回っています。中学校と校区別協議会やオンラインで6年生と中学生がつながる機会を設けましたが、どのように中学校と連携をしているかを保護者に皆様に伝えるように努力してまいります。

◆体力の向上を図る。



設問⑭ 保健指導や安全指導を推進する		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	学校は、新型コロナウイルスの感染予防や安全教育に努めている。	50.2%	40.3%	6.5% 3.0%
子供	自分の健康や安全に気を付けて学校生活を送っている。	64.9%	25.8%	3.3% 4.0% 2.0%
教員	新型コロナウイルスの感染予防や安全教育に努めている。	52.4%	47.6%	

・体力向上に関しては、保護者の肯定的評価が80%を下回っています。体力調査の結果を基にして、体育の授業で運動を工夫し、運動ができたという喜びが味わえるようにしていきます。
 ・早寝・早起きに関しては、子供たちの肯定的評価が80%を下回っています。ゲームなどをしていて、夜寝るのが遅くなっている子もいると考えられるので、ゲームやスマートフォンの使い方などを保護者と一緒に考えられるようにしていきたいです。

【保護者や地域から信頼される学校】

◆情報の積極的な発信

設問⑮ 学校公開、行事等の保護者の参観		□当てはまる	□だいたい当てはまる	■あまり当てはまらない
保護者	学校は学校公開や行事などを通して、開かれた学校づくりをしている。	54.7%	41.8%	2.5% 1.0%
教員	学校は学校公開や行事などを通して、開かれた学校づくりをしている。	57.1%	42.9%	

設問⑯ 学校だより、学年だよりやHP等での発信を行う		□当てはまる	□だいたい当てはまる	■あまり当てはまらない
保護者	学校は、各種お知らせやHPを通して、教育方針や教育活動を伝えている。	51.2%	39.8%	3.5% 5.0% 0.5%
教員	各種お知らせやHPを通して、教育方針や教育活動を伝えている。	38.1%	52.4%	9.5%

◆相談体制の構築

設問⑰ スクールカウンセラー、心のふれあい相談員との連携を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	学校は、児童や保護者の相談を受け入れる体制ができている。	48.7%	43.8%	3.5%
子供	困ったことがあった場合には、担任やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員に話すことができる。	50.4%	36.8%	4.0% 6.3% 5.1% 1.4%
教員	児童や保護者の相談を受け入れる体制ができている。	0.0%	85.7%	14.3%

設問⑱ ふたばルームとの連携を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	ふたばルームの利用や指導内容について知っている。	13.9%	25.9%	25.9% 11.4% 22.9%
教員	ふたばルームと連携し、児童の指導に役立てている。	76.2%	19.0%	4.8%

・相談体制に関しては、子供たちの肯定的評価が80%を下回っています。子供によっては、相談室に気軽に行く子もいれば、行ったことがない子供も多いです。心のふれあい相談員が教室に回って子供たちに顔を覚えてもらうことも行っています。今後も継続していきます。

・ふたばルームに関しては、保護者の肯定的評価が80%を下回っています。ふたばルームを利用している子供の保護者は知っていることでも、他の保護者にとっては分からないことが多いのが事実です。今後情報の発信をしていきます。

この他、自由記述欄のご意見・ご感想を記入していただきありがとうございました。貴重なご意見として参考にさせていただき、今後の教育活動に生かしてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。